

「北九州市スポーツ振興計画（改訂版）」の概要

1 計画改訂の主旨

北九州市は、平成 23 年 9 月に「北九州市スポーツ振興計画（目標年次：平成 32 年度までの 10 年間）」を策定し、生涯スポーツ社会の実現に向け、積極的にスポーツ振興に取り組んできた。そのような中、国においてはラグビーワールドカップ 2019 日本大会や 2020 年東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定し、スポーツに対する関心が高まっている。また、本市においても北九州マラソンや大規模国際大会の誘致・開催によるシビックプライドの醸成やまちのにぎわいづくり施策の推進、公共施設マネジメント実行計画の策定など、スポーツを取り巻く環境や位置づけが大きく変化してきた。

そこで、前期 5 年を検証するとともに、社会情勢の変化や市民ニーズ等を踏まえて、平成 28 年 9 月に後期 5 年間の計画「北九州市スポーツ振興計画」の改訂を行った。

2 「スポーツ振興計画（改訂版）」の基本理念と目指す姿（目標）

（1）計画期間

平成 28 年度から 32 年度（5 年間）

（2）基本理念

「ライフステージに応じたスポーツの機会の創造とスポーツを通じた元気なまちづくりの推進」

（3）3つの目標

ア	する人	スポーツ実施率（週 1 回以上スポーツ・運動を実施）	65%以上
イ	みる人	スポーツ観戦率（1 年間に競技場で観戦）	40%以上
ウ	創る・支える人	総合型地域スポーツクラブにかかわる人	4000人

（4）計画の体系（5つの政策）（スポーツ振興計画 P. 22～23）

- 政策Ⅰ 生涯・競技スポーツの普及・振興
- 政策Ⅱ 学校体育等の連携・充実
- 政策Ⅲ スポーツによるまちの活性化
- 政策Ⅳ 指導者の養成と有効活用
- 政策Ⅴ スポーツ施設・情報基盤の整備

3 「スポーツ振興計画(改訂版)」の主な改正ポイント

- (1) 基本施策にⅢ-2「オリンピック・パラリンピック等への協力・参画を契機としたスポーツの振興」を追加。
さらに、キャンプ地誘致を成功させるためには市民が一丸となった開催機運の醸成が重要であることから、それらの取組を併せて追加。
- (2) 大規模国際大会等の誘致を優位に進めるため、基本施策Ⅲ-3「「みる」スポーツに対応する高規格・大規模施設の整備」に大規模国際大会誘致の視点を追加。
- (3) 大規模国際大会等の開催にあたっては、多様なボランティアの活用が不可欠となることから、スポーツ分野におけるボランティアの養成を促進するため、基本施策Ⅳ-2「ボランティアの発掘・活用」に「養成」を追加。
- (4) 施設整備等の分野においては、平成28年2月に策定された公共施設マネジメント実行計画(スポーツ施設分野別計画)を盛り込み、基本施策Ⅴ-2「公共施設マネジメントの推進」として拡充。

4 平成29年度の主な取組

- (1) 市民体育祭(政策Ⅰ)
「市民皆スポーツ」をモットーに、スポーツ・レクリエーションの普及振興を図り、市民の健康で明るい市民生活に寄与するため、市内全域で各種大会や行事を開催する。
- (2) 生涯スポーツ振興事業(政策Ⅰ)
生涯スポーツの振興・普及のため、各区においてスポーツ教室、ニュースポーツ体験会などを開催する。
- (3) 総合型地域スポーツクラブ育成・支援事業(政策Ⅰ)
今後の地域スポーツの中核的担い手であり、また、身近な地域でスポーツに親しむことのできる総合型地域スポーツクラブの育成・支援に取り組む。
- (4) 夢・スポーツ振興事業(政策Ⅰ・Ⅱ)
2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催を見据え、国際・全国大会で活躍する選手を育成するため、ジュニア世代がトップアスリートや指導者に直接指導を受ける講習会等を実施する。
実施種目を8種目から10種目に拡大。
- (5) 北九州マラソン開催事業(政策Ⅰ・Ⅲ・Ⅳ)
本市の魅力を全国に発信するとともに、スポーツによるまちのにぎわいづくりやスポーツの振興などを目的として第5回北九州マラソンを開催する。
フルマラソンの定員を10,500人から11,000人と500人拡大するとともに、100人の海外ランナー枠を新設。

(6) 体力アップ推進事業（政策Ⅱ）

全校体制でのP D C Aサイクル及び授業の充実と運動習慣を確立するため、児童生徒の実態に即した運動に取り組む。

また、大学との連携により「体力向上プログラム」を作成し、授業の準備運動や各校による「1校1取組」の実践など、日常的に運動を行う子どもを育て、体力の向上を図る。

(7) 国際大会・全国大会等のスポーツ大会開催支援（政策Ⅲ）

市内での国際大会等の開催支援等により、「みる」スポーツの機会の拡大を図り、多くの市民のスポーツへの関心の向上及び個々の競技力の向上等につなげる。

(8) ギラヴァンツ北九州支援事業（政策Ⅲ）

本市のシンボルチームである「ギラヴァンツ北九州」を支援するため、ホームゲーム開催経費や遠征費の一部を補助する。

(9) ホームタウン推進事業（政策Ⅲ）

本市をホームタウン・準ホームタウンとする「ギラヴァンツ北九州」、「堺ブレイザーズ」、「福岡ソフトバンクホークス」等の市民観戦事業等を行い、市民がスポーツに親しむきっかけづくりを行う。

(10) 大規模国際大会誘致関係事業（政策Ⅲ）

大規模国際大会等の誘致並びに前後のスポーツ交流や文化交流へとつなげることを目的として、備品の整備及び官民一体となった「北九州市大規模国際大会等誘致委員会」による積極的な活動を行う。

(11) 北九州スタジアム維持管理事業（政策Ⅰ・Ⅲ・Ⅴ）

北九州スタジアムの適切な維持管理・運営を行うことで、「みる」スポーツの機会の充実を図り、スポーツを通じたまちのにぎわいづくりに取り組む。

(12) 桃園市民プール（室内）整備事業（政策Ⅲ・Ⅴ）

老朽化が著しく更新時期を迎えた市内唯一の室内公認50m プールである桃園市民プールについて、2020年東京オリンピック・パラリンピックのキャンプ地誘致の実現に向けて、新築工事の実施設計及び既存建物の解体・撤去を行う。